

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 2月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
新橋演舞場	『お種と仙太郎』	○	○	○	○
	『大当り高津の富くじ 江戸育ち亀屋伊之助』	○	○		
	『おやじの女』	○	○		
日生劇場	『口上』		○	○	○
	『義経千本桜 吉野山』		○		
	『通し狂言 新皿屋舗月雨暈 お蔦殺し・魚屋宗五郎』	○	○		
南座(京都)	中村美律子オンステージ				○
松竹座(大阪)	『新八犬伝』	○		○	○
	『GOEMON 石川五右衛門』	○			
博多座	『吹雪峠』	○		○	○
	『身替座禅』				
	『天衣紛上野初花 河内山 質見世より玄関先まで』	○			
	『平家女護島 俊寛』	○			
	『六代目中村勘九郎襲名披露口上』				
	『義経千本桜 渡海屋・大物浦』	○			
	『芝翫奴』				

ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします

■ 映画プログラム ■

『フライト』 『すーちゃん まいちゃん さわ子さん』 『ジャンゴ 繋がれざる者』
 『ぼくが処刑される未来』 『PIECE ～記憶の欠片～』 『恋する歯車』
 『つやのよる ある愛に関わった、女たちの物語』 『HOME 愛しの座敷わらし』
 『ハーバー・クライシス<湾岸危機>Black & White Episode 1』
 『草原の椅子』 『ONE PIECE FILM Z ワンピース フィルム ゼット』
 『苦役列車』 『ヒンデンブルグ 第三帝国の陰謀』 『虹色ほたる～永遠の夏休み～』
 『アシュラ』 『僕達急行 A列車で行こう』 『はやぶさ 遙かなる帰還』
 『臨場 劇場版』 『マイウェイ 12, 000キロの真実』 『北のカナリアたち』
 『莫逆家族 バクギャクファミリーア』

■ 他社演劇公演資料 ■

大阪新歌舞伎座	1月	『樅の木は残った』プログラム
	2月	『島津重矢特別公演』プログラム
国立劇場小劇場	1月	『長唄の会 三曲の会』プログラム
国立文楽劇場	1月	『第一二九回文楽公演』プログラム、床本 『第二十五期文楽研修修了発表会』プログラム
シアタークリエ	1月	『ピアフ』プログラム
CBGKシブゲキ！！	1月	劇団BDP『男を手玉にとる方法』プログラム
自由劇場（四季）	1月	劇団四季『この生命誰のもの』プログラム
日経ホール	2月	大手町座第12回『市川猿之助歌舞伎舞踊公演』プログラム
日生劇場	1月	『ミュージカル シラノ』プログラム
能登演劇堂	1月	無名塾『秘演 授業』プログラム、台本
俳優座劇場	1月	劇団俳優座『心細い日のサングラス』プログラム、台本
博多座	1月	宝塚歌劇宙組『銀河英雄伝説@TAKARAZUKA』プログラム
プーク人形劇場	1月	人形劇団プーク『もりのへなそうる』『ふしぎな箱』プログラム
明治座	1月	『ミュージカル 光化門恋歌』プログラム
ル テアトル銀座	1月	『阿修羅のごとく』プログラム

■ 演劇雑誌 ■

『a a f 通信』2013年2月(36号)	『上方芸能』2013年3月(187号)
『アクチュール・ステージ』Vol. 3、Vol. 4	『神奈川芸術プレス』2013年2月-3月 Vol. 110
『あぜくら』平成25年2月号	『喝采』2013年5月(161号)
『文楽通信かわら版』17号	『国立演芸場公演ガイド』平成25年2月号、3月号
『Confetti』	『日本芸術文化振興会ニュース』平成25年3月号
2013年FEBRUARY Vol. 98、2013年MARCH Vol. 99	『日本照明家協会誌』2013年2月号
『Confettiかわら本』2013年2月号 Vol. 98	『日本舞踊』65巻3月号
『伝統文化新聞』2013年(81号)	『大向う』平成25年2月号、3月号
『DRAMAかながわ』65号、66号	『ラ・アルプ』2013年3月号
『別冊DRAMAかながわ』2号	『SAKURA TIMES』Vol. 14、15
『演劇界』2013年4月号	『SePT倶楽部 information』
『げき』2013年1月11号	2012年11月号
『悲劇喜劇』2013年3月号	『シアターガイド』2013年4月号
『邦楽の友』平成25年3月号	『テアトロ』2013年3月号
『ほうおう』2013年4月号	『座・高円寺』No. 7
『JPL』2013年Winter No. 48	

■ 映画雑誌 ■

『文化通信ジャーナル』2013年1月号、2月号	『キネマ旬報』2013年2月下旬決算特別号、3月上旬号
『第三映画』1号～10号特大号	『ムービー・スター』2013年4月号
『ドラマ』2013年3月号	『NFCニューズレター』2013年2月-3月号
『映画テレビ技術』2013年3月号	『NFCカレンダー』2013年3月号
『映画ビジネス』平成25年1月下旬号	『日経エンタテインメント!』2013年3月号
『映画学』2012年26号	『ピクトアップ』2013年4月号81号
『映画芸術』2013年冬号(442号)	『SCREEN』2013年4月号
『映画撮影』2013 Feb No. 196	『シナリオ』2013年4月号
『映画時報』2013年1月号	『シナリオ教室』2013年3月号
『映画秘宝』2013年3月号、4月号	『シネ・フロント』2013年2月号
『衛星劇場プログラムガイド』2013年3月号	『シネビ・エイジ』2013 No. 618
『エキブ・ド・シネマ』2013年No. 192	『東映キネマ旬報』2012年冬号 Vol. 20
『FLIX』2013年4月号	

(新規登録資料案内 続き)

■ 書 籍 ■

『歌舞伎手帖 増補版』	渡辺保 (著)	角川学芸出版
『現代日本戯曲体系第12巻』	三一書房編集部 (編)	三一書房
『三代目猿之助の絵』	市川猿翁 - 2世 (著)	講談社
『しどろもどろ 映画監督岡本喜八対談集』	岡本喜八 (著)	筑摩書房
『シネマに恋して 千五〇〇通のラブレター』	田中昭 (著)	文芸社
『NEW NATIONAL THEATRE TOKYO [新国立劇場紹介パンフレット]』		新国立劇場運営財団
『帝国劇場100年のあゆみ1911-2011』	『帝国劇場100年のあゆみ』編集委員会 (編)	東宝
『寅さんとイエス』	米田彰男 (著)	筑摩書房
『寅さんと仏教』	横山秀樹 (著)	文芸社
『名古屋シネマノスタルジー わが青春の三番館』	桑原成順 (著)	文芸社
『日本芸術文化振興会年報 平成23(2011)年度』		日本芸術文化振興会

≫≫ ご寄贈いただきました

2013年2月13日

歌舞伎の竹本太夫として長く舞台上で活躍され、2011年に亡くなられた竹本綾太夫様ご使用の竹本床本290冊を、竹本協会(竹本道太夫)様を介してご寄贈いただきました。後世に伝えるべき貴重な資料として大切に活用させていただきます。ありがとうございました。

資料をご寄贈くださった方々(敬称略・順不同/2012年12月~2013年1月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、衛星劇場、キネマ旬報社、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、国立劇場、シナリオ・センター、株式会社日本舞踊社、銀座 博品館劇場、劇団四季、日本映画テレビ技術協会、舞踊芸術社、東宝株式会社、劇団山の手事情社、演劇出版社、関西・歌舞伎を愛する会、ロングランプランニング株式会社、シアタークリエ、名取事務所、加藤健一事務所、劇団民藝、公益社団法人日本俳優協会、魁文舎、伝統文化新聞、株式会社カモミール社テアトロ編集部、公益社団法人日本照明家協会、東京大学出版会、丸善出版株式会社、日本演劇興行協会、おもだか会、OSK日本歌劇団、独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場、とやま世界こども舞台芸術祭実行委員会、一般社団法人日本民間放送連盟、劇団俳優座、文学座、日本映画テレビプロデューサー協会、日本近代文学館、博多座、フィルムセンター、劇団昴、岩波ホール、(株)近代映画社、歌舞伎学会、(有)三月書房、片岡幸子、秋田雨雀・土方与志記念青年劇場、劇団1980、三越劇場、新国立劇場、川俣昭男、園田学園女子大学近松研究所、博物館明治村、邦楽の友社、銀座百店会、株式会社サンシャイン劇場、紀伊國屋ホール、株式会社角川学芸出版、四季株式会社、日本芸術文化振興会、帝国劇場100年のあゆみ、名古屋芸能文化会、後藤康行、無声映画鑑賞会、俳優座劇場、前進座、御園座、角川書店、中川織江、西岡琢也、社団法人日本演劇協会、日本ウニマ(国際人形劇連盟)、東京都江戸東京博物館、日之出出版社、日本劇団協議会、人形劇団プーク、ル テアトル銀座 by PARCO、株式会社文芸社、公益財団法人大宅壮一文庫、筑摩書房、世田谷文学館、洋泉社、一般社団法人長唄協会、歌舞伎大道具(背景画)製作技術保存会、PHP研究所、ユニオン映画株式会社、劇団銅鑼、ワイズ出版、ぴあ株式会社、中村京蔵、岩波書店

どうもありがとうございました

国立国会図書館関西館見学

見学日：2013年2月23日 飯塚美砂

国立国会図書館関西館から『花ひらく少女歌劇の世界』という小展示（2月21日～3月22日）のお知らせがあった。宝塚歌劇や、いったんは解散に追い込まれたものの復活し、近年は東京公演まで行うようになったOSK日本歌劇団など、最近はSKD以外の少女歌劇に関するレファレンスを受けることも多いが、松竹大谷図書館では資料が少ない。国会図書館はどのような資料を持っているのか知りたかったのと、関西館に興味があったので見学に訪れてみた。

大阪と奈良と京都の境に位置する国立国会図書館関西館は、JR学園都市線祝園（ほうその）、近鉄京都線新祝園、近鉄けいはんな線学研奈良登美ヶ丘の各駅からバスで15分ほど、関西文化学術研究都市という研究施設などが点在する丘陵地帯に建っている。入館には当日入館するための入館カードを作り、改札のようなゲートを通る。この当日カードは館内施設や開架されている図書を見ることはできるが、閉架収蔵されている図書の閲覧には別に利用登録が必要になる。館外貸出しは一切行わず、退館時には出口ゲートで厳重にチェックされる。

まず、特別展『花ひらく少女歌劇の世界』を見せてもらった。事前に見学を伝えたとところ展示担当の方が丁寧にご案内くださった。閲覧室にガラスケースを並べ、宝塚歌劇、OSK、SKDはじめ、河合ダンスやだるま屋少女歌劇といった地方の歌劇団、浅草オペラ、韓国やインドネシアといった海外の少女歌劇団まで含めて、関連図書や脚本集、写真集、記事が掲載されている雑誌など100点余りを展示していた。そのうちの何冊かは、自由に手にとって閲覧できるようになっており、レビュー主題歌のSPレコードの音源をデジタル化して視聴できるコーナーもあった。

関西では比較的愛好家が多いという少女歌劇をテーマにえらび、その記録を細かく検索にかけて探した努力が見て取れる展示内容、日本地図上に各地で活躍した少女歌劇団がひと目で分かるように書き込んだパネルなども興味深く見ることができた。各劇団の資料を系統立て並べるなどすると、さらにわかりやすくなったのではないかと思う。

次に、定期的に催されている書庫まで見学できる一般ガイドツアーに参加させてもらった。建物は、地上4階地下4階、延床面積59,500㎡（その8割は地下部分）、ガラス張りのモダンな建物で、前庭にはのこぎり状に段差の付いた芝生が広がっている。コンペティションで最優秀作に選ばれた陶器二三雄氏の設計で、館内は4階まで吹き抜けの空間があり、イタリアン・スタッコ調という特殊な漆喰工法で大理石のように磨かれた白い壁を基調として開放感にあふれている。

B1F（半地下）の閲覧室は100席余り。ひろびろとして、整然と使いやすそうなデスクが100台ほど一面に並んでいる。その奥に広がる書架には12万冊ほどの開架図書が並び、その4分の3が辞書や年鑑、雑誌といった調査の基本となる日本語の図書、4分の1は「アジア情報室」としてこの関西館が特色としているアジア各国で出版された新聞、雑誌、基本的な図書（現地言語）である。

書庫は大半が地下部分にあり、温度湿度が管理され、消火設備としては資料への影響がないとされる窒素ガスを使用している。地下部分の書庫はとにかく広く、センサーによる点灯、万一の水漏れを危惧して水まわりの設備は一切ない。140万冊の収蔵能力を有するものの、5年後にはいっぱいになると予想されている。館の後ろに広大な土地が確保されておりそこに新たに書庫を増設する予定とのこと。書庫の一部にある自動書庫は完全にコンピューターで制御され、人間は入れない。図書を分類や大きさに関わらずコンテナに収めて、機械によって自動的に積み上げて収蔵する。閲覧請求があると、コンピューターがそのコンテナを呼び出しベルトコンベアーに乗せる。職員は窓口から出てきたコンテナから、請求された本を取り出す仕組みである。この自動書庫の導入により、書庫の収蔵能力が固定書架のおよそ4倍に上がり、搬送の省力化も実現した。

蔵書内容は、現在のところ東京本館に納められた図書の複本（2冊目）と電子化の済んだ図書の一部で、順次関西館に送られて来るといふ。今回の見学では電子化については触れられなかったが、関西館に期待されているのは図書の電子化やレファレンスの協同データベース構築である。また今回のような独自の企画展示を積極的に開催し、自館の存在をアピールすると共に、関西館で行った企画展示を各地の図書館でそのまま開催できるように提供するなど、関西館から発信できる事を増やせないかと考慮中という。



第31回 松竹大谷図書館所蔵資料展示

「御園座」展

展示期間：2013年3月1日～3月15日 於：松竹大谷図書館閲覧室



『演劇』（御園座演劇図書館機関誌）
1～51号

今月のミニ展示では、3月末までさよなら公演が行われている名古屋の大劇場「御園座」に関する資料をご紹介します。当館では東京の演劇資料だけではなく、名古屋、京都、大阪などの大劇場の公演資料も収集していますが、御園座に関する資料も、番付、プログラム、上演台本など、多くの資料を所蔵しております。今回は、御園座がある会館ビル地下2階に併設されている御園座演劇図書館が編纂等に携わった刊行物を中心に、昭和20年代の文楽、新派、新国劇、歌舞伎の御園座公演プログラム等を展示しました。展示数は少ないですが、歌舞伎から人気歌手の座長公演まで、幅広いジャンルの公演を催してきた御園座の魅力をお伝えしたいと思います。（展示資料はほんの一部です。その他の所蔵資料の閲覧はカウンターでご請求下さい。）

御園座演劇図書館は、昭和44年1月に業務を開始した「演劇資料室」を発端とした演劇の専門図書館で、御園座の公演資料や古典芸能の資料を多く所蔵する図書館です。開館以来、機関誌の発行や、会員を対象とした演劇教室を開催するなど積極的に活動を行ってきました。このたびの御園座会館の再開に伴い、図書館も閉鎖するとの話が伝わってきますが、貴重な所蔵資料が散逸する事のないような解決策を願っております。

【御園座番付】明治31年7月7日より「染模様妹背門松」 大阪で活躍した中村伝五郎の息子中村小伝次に花を持たせるため、鷹治郎の久松、小伝次のお染で、大切に差し込まれた演目の番付。大阪から乗り込んだ鷹治郎の興行は大人気で、初日から木戸札が売り切れた。



■「御園座」関連資料展示一覧■

【御園座プログラム】

- 昭和23年7月「文楽 全座員総出演引越興行」
- 昭和24年10月「八代目松本幸四郎襲名披露中村吉右衛門大一座」
- 昭和24年11月「大合同新派祭」
- 昭和26年11月「新国劇秋季公演 宮本武蔵」

【雑誌】

- 『演劇』（御園座演劇図書館機関誌）1号（昭和50年10月創刊号）・51号（平成12年12月）
昭和50年10月創刊。昭和61年10月発行の第23号より、逐次刊行物を識別するための国際的なコード番号であるISSNが付与される。平成12年12月発行の51号をもって休刊

【図書】

- 『創立六拾周年・復興拾周年記念年号』御園座文芸部編集発行 昭和31年〔1956〕
- 『御園座七十年史』藤野義雄著 株式会社御園座 昭和41年〔1966〕
- 『御園座八十年史』藤野義雄著 株式会社御園座 昭和51年〔1976〕
- 『御園座百年史』御園座百年史委員会 平成11年〔1999〕
- 『日本演劇書目解題』御園座演劇図書館編 株式会社御園座 演劇出版社 昭和58年〔1983〕
- 『日本演劇新刊書目解題』御園座演劇図書館編 演劇出版社 昭和60年〔1985〕
- 『脚光の十年』御園座演劇図書館編 株式会社御園座 昭和60年〔1985〕
- 『現代の歌舞伎芸談』御園座演劇図書館編 演劇出版社 平成2年〔1990〕
- 『抱きとんぼ一代』株式会社御園座「長谷川栄一追想集」刊行実行委員会 平成5年〔1993〕
- 『名作歌舞伎の舞台鑑賞』藤野義雄著 御園座演劇図書館編 株式会社御園座 平成6年〔1994〕
- 『小説御園座 ももとせの檜舞台』飯塚俊著 株式会社御園座 平成8年〔1996〕

【番付】

- 明治31年7月7日より開場
おこがましくも御最員の御好に任せ 染模様妹背門松 中村鷹次郎 中村小傳次

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2013（平成25）年2月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社衛星劇場

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

松竹映画劇場株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

財団法人 昭和池田記念財団

個人（敬称略）

塩川正十郎

どうもありがとうございます

■ 春季特別整理休館のお知らせ ■

平成二十五年三月十六日（土）より、三月三十一日（日）まで、資料整理のため休館とさせていただきます。平成二十五年四月一日（月）より通常どおり開館致します。

■ 編集後記 ■

六本木ミッドタウンのサントリ―美術館で開かれている『歌舞伎江戸の芝居小屋』展へ行ってきました。かなり盛況で、館内は熱心に鑑賞するお客さんたちでいっぱいでした。当館から出品している「かふきのさうし」や歌舞伎台本なども綺麗に展示されています。また、六代目歌右衛門さんの衣裳がとても美しかったです。展示替えも多く行われ、何度行っても楽しめそうです。三月三十一日の最終日までにもう一度行く予定です。

歌舞伎座地下「木挽町広場」がオープンしました。「歌舞伎座」の文字と鳳凰をかたどったシンボルマークの大きな看板が目を引きます。コンビニやカフェ、お弁当屋さんなどもあり、居心地の良い空間です。この広場の上には歌舞伎座のロビーや客席があると思わず不思議な気持ちになります。東銀座駅と直結し、エスカレーターやエレベーターも出来て便利になりました。通勤が楽しくなりそうです。いよいよ来月、歌舞伎座が再開場です！（あ）

● 利用案内 ●

● 開館時間 ●

平日午前10時～午後5時

● 休館日 ●

土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、五月一日、十一月二十一日、年末年始、

春期夏期特別整理期間

※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内に掲示

します。

入館料 無料 館内閲覧のみ

● 交通案内 ●

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分

東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

